

# パネルディスカッション

## 次世代を担う学生が挑戦可能な機会を作るには？

2015年3月10日

ICT教育推進協議会 情報通信技術者合同会議 2014

一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター  
岡田 雅之

# はじめまして



- **氏名 岡田 雅之**

- **所属**

- 一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター（JPNIC）

- **仕事**

- IPアドレス管理システムの企画～運用
- （技術コミュニティとの関係維持・向上を通じた業務の推進）

- **ICT教育推進協議会さんとの関係**

- JPNICイベント（InternetWeek）でのネットワーク構築ボランティアの募集とボランティア参加

# この発表でつたえたいこと（結論）

- むかしむかし、私たちは壊しながら覚えた
- 活用が進んだ現代はそんなこと不可能
  - ゼロからシステムを作る機会は少ない
  - “いじる”環境に触れることの出来る機会も少ない
- 挑戦的な場を持っている人が提供すれば・
  - カンファレンスなどの一時ネットワーク
  - 参加する学生（若者）の向上の場にもなれば
  - ついでに年長者と若者が混ざる機会になればと



# (私見) 挑戦的な機会の一覧

---

- **Interop Tokyo**
  - 年 1回開催/2週間程度/レベル 高
- **Japan Network Operator's Group mtg**
  - 年 2回開催/3日前後/レベル 様々
- **言語系勉強会**
  - 軽量言語・PPP(Perl/Python/PHP)・Rubyなど
  - 年 1回開催が多い、1日程度の開催/レベル 様々
- **国際会議 (学会やインターネット方針決め)**
  - 年 1~2回、レベルは様々であるが、英語 . . .
- **JPNIC主催のイベント (InternetWeek)**
  - 年 1回/1週間程度/レベルは合わせている

# さらに発展して

---

- **現在も存在するハードル**

- 授業の出席との相反

- 公休が認められるかは指導教官次第？
- なんとかカリキュラムの一環とすることはできないか

- 交通費・宿泊費の支弁

- 首都圏・地方の格差をどのような枠組みで埋めるのか
- 次の仲西さんのお話より新たなチャレンジが！

- 経験者側がガツガツしすぎ

- 若い人がくると出る杭を打ちすぎてトラウマに
- やはり間を取り持つ存在が重要？

# ICT教育推進協議会さんへの（個人的な）期待

- **継続して機会を提供しましょう**
  - できれば沢山学生さんと汗を流したい
- **更なる“良い”機会の提供**
  - 今のハードルをさらに緩和すべく考えませんか
- **良好なサイクルをまわしたい**
  - 過去の参加者が“お兄さん”となり経験の伝承を
  - 腕はきっかけ次第でどんどん成長する

最終的にはITとネットワークを活用してもっと楽しい世の中へ、主体的に導く人になってほしい！